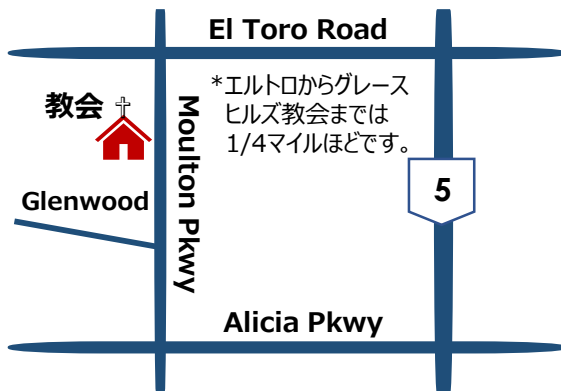


集会案内

- 毎日曜日： 祈 禱 会 1:15pm - 1:45pm
礼 拝 2:00pm - 3:20pm
ブレイク 3:30pm - 3:50pm
聖書研究 4:00pm - 4:50pm
- 毎月1回： 家庭集会 ラグナ・ウッズ又はアーバイン
10:30am - 昼食
- 出張礼拝 JPシニア・ホームズ
10:30am - 12:00pm
- 教会住所： c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637

- ★ 私達の礼拝は第1バプテスト教会グレース・ヒルズ教会堂内のチャペルで行なっています。
- ★ 子供たちのためのサンデー・スクールもあります。また、遊具等の設備も豊かに整っております。

地 図



ホームページ： www.irvinihongokyokai.org

 Irvine Nihongo Kyokai

連絡先： 榊原宣行 牧師 電話： (714)827-6244
Eメール： nobu@occc.org

杉村 宰 牧師 電話： (714)527-1456
Eメール： sugimura1950@gmail.com

◎ 石 叫 ■

「山本雪江」②

私は傷つき、一人で生きて行く決心をしました。唯一、兄がいつでも帰って来いと言ってくれた言葉に励まされ、それから約八年間、一生懸命働きました。私はモントレーパークに友人と二人で住んでいました。そこでクリスマスチャンの章子さんと知り合いました。ある土曜の夜、彼女が「さあ、明日は教会だから、もう早く休まなくては」と言ったのです。それを聞きながら、私も教会に行けるような人になりたいなあと思いました。でも教会に行くには品行方正でなければいけないと考えていました。そこで、私も清くなりたいと思い、章子さんにお願いでして、教会に連れて行ってもらいました。それがロサンゼルス・ホーリネス教会でした。礼拝堂に入ると涙が溢れ、私を清め傷をいやしてくれるようで、一八五年十二月に「鉄は熱いうちに打て」とばかり受洗しました。神様は私に希望を与えて下さり、一八八七年に友人を通して今の主人と出会わせてくれました。私が自分の信仰を彼に告げると、「知ってます。僕も教会に連れて行って下さい」と言われ、毎週一緒に行くようになりました。やがて私たちは一八八六年八月にロサンゼルス教会で結婚式を挙げたのです。結婚から一年経った頃、何かの事で主人が怒って「もう、教会に行くな」と言いました。私は途方に暮れ、泣きながら車を運転していた時、窓外から「大丈夫だよ！」と言う優しい声が聞こえました。私は「えっ」と、回りを見まわしましたが、確かに声がしたのです。それは、後の私にとって大きな励ましとなりました。

一九九五年一月十七日の阪神淡路大震災の時でした。父の肺がんの手術のため、その年の一月三日から帰国していた私は、一月十日に別府に住む主人の母から電話があり、「淡路・神戸で地震があつたの？」と尋ねてきたのです。もちろんその時は未だ地震は起きていません。こんな事があるのでしょうか。神様は義母の口を通して私に語って下さったのです。地震当日、母と私はタンスの下敷きになりながらも助かりました。聖書に「神はわたしたちのさけどころ、わたしたちの苦難のとき、必ずそこにいますして助けて下さる」(詩篇四六・一)とありますが、神様は確かに「そこにいらっしやる」ことを教えて下さったのです。家は崩壊して住めなくなりましたが、じきに良い住いが与えられました。

Rev. Sukasa Sugimura

「私達の教会の歩み」

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。現在は、榊原宣行牧師の監督のもと、杉村宰牧師と啓子師をはじめ、田畑彰牧師、ジェームス・パーク牧師、佐藤裕士兄と、信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをし、月一回の家庭集会と、シニアホームでの出張礼拝を開いております。

「ミッション・ステートメント」

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令(マタイ28:18-20)に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。